

証券コード 2331

好評
発売中

ALSOK
ホームセキュリティα



第44期報告書

2008年4月1日～2009年3月31日

 **ALSOK**

総合警備保障株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、社会環境の面では、刑法犯の認知件数が6年連続で減少するなど、統計上の治安の改善は見られましたが、社会の注目を集める事件や事故の発生により、国民の安心や安全を求める意識は依然高い状況にあります。企業活動においても機密情報や個人情報の従業員による持ち出しや、ファイル共有ソフトの利用を通じた情報漏えい事件の多発に伴い、セキュリティ対策の整備が急務となっています。このため、警備業界においては社会のニーズに応える多様なセキュリティサービスの提供が求められる一方、企業の景況感の悪化、消費者心理の冷え込み、警備事業者間の競争激化などから厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループはセキュリティ事業分野を中心に、地域営業戦略の強化、営業体制の見直し、間接販売チャネルの強化・拡充による販売の強化、情報セキュリティへの取り組み、などで多様化する社会のニーズに応え、事業の拡大に努めてまいりました。

法人分野では、機械警備システム「ALSOKガードシステム」や遠隔画像監視システム「ALSOK-MP」、出入管理システム等を中心に販売活動を推進いたしました。新商品としては、従来の機械警備サービスのオプションサービスとして、オフィスや店舗・工場などの設備情報（異常発生等）を自動的に関係者へEメールにて通知する「設備情報メール」サービスを開始したほか、情報漏えい監視サービス「PC監視」を開始し、自社での営業活動のほか、業務提携先へのOEM供給や販売についての協業などを開始しております。

個人分野では、昨年12月に新商品として「安心・便利」な機能を強化した新型ホームセキュリティ「ALSOK

ホームセキュリティα」を発売しました。「ALSOKホームセキュリティX7」とともに販売を推進し、ホームセキュリティ市場の開拓活動を進めたほか、新たな料金プランとして初期費用0円の「ゼロスタートプラン」を用意し、利用者の予算に応じて選択できるプランの拡充を行いました。

なお、更なる事業の拡大および警備運用基盤の強化を図るため、平成20年9月30日付で、「株式会社アーバンセキュリティ」を連結子会社化いたしました。

これら営業活動の結果、売上高は285,004百万円(前年同期比0.0%増)となりました。また、利益面では、労務費等の増加により、営業利益は9,943百万円(前年同期比27.9%減)、経常利益は10,630百万円(前年同期比27.4%減)、当期純利益は4,224百万円(前年同期比44.8%減)となりました。

今後とも、当社グループは、創業以来の経営方針である「立派な警備の提供」を堅持しつつ、日々変化するお客様の安心・安全に対するニーズを的確に捉えた商品・サービスの提供を通じて業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月



代表取締役社長

村井 温

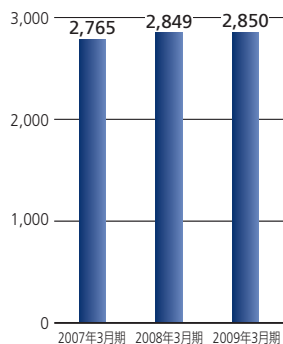
財務ハイライト

主要な経営指標等の推移(連結)

	2009年3月期	前期比(%)	2008年3月期	2007年3月期
売上高(百万円)	285,004	0.0	284,996	276,560
営業利益(百万円)	9,943	△27.9	13,795	15,972
経常利益(百万円)	10,630	△27.4	14,642	16,917
当期純利益(百万円)	4,224	△44.8	7,653	7,558
純資産(百万円)	154,898	△0.0	154,904	151,816
総資産(百万円)	287,561	△3.3	297,396	285,219
1株当たり純資産(円)	1,364.33	0.6	1,356.35	1,322.82
1株当たり当期純利益(円)	41.90	△44.2	75.07	74.71
自己資本比率(%)	47.7	3.2	46.2	47.2
1株当たり配当金(個別)(円)	20		20	20

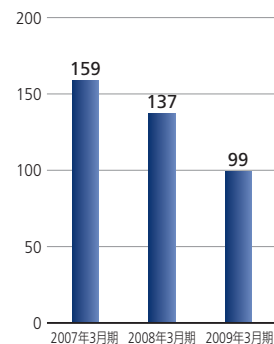
売上高

(億円)



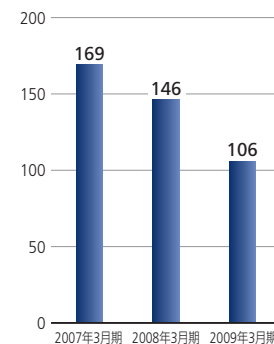
営業利益

(億円)



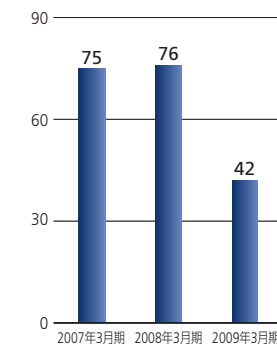
経常利益

(億円)



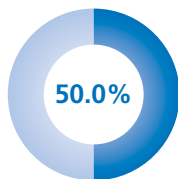
当期純利益

(億円)

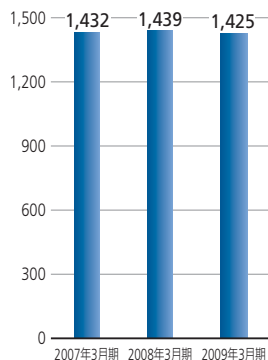


部門別の状況

機械警備業務



売上高 (億円)

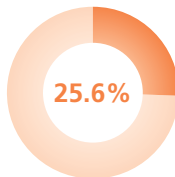


当期の概況

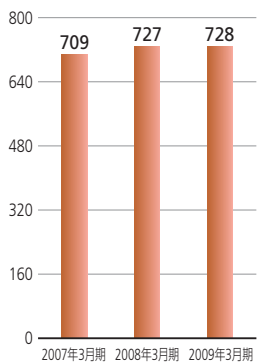
法人向けでは、消費者金融等の店舗統廃合による解約や、景気の停滞に伴う解約や値下げの影響がありました。個人向けでは、12月に新商品「ALSOKホームセキュリティα」の発売を開始しました。また、ハウスメーカーや不動産会社等とのアライアンス強化による販売チャネルの拡大・拡充、新規加入時の支払いプランを拡充し、販売の強化に努めました。

以上の結果、機械警備業務部門の売上高は、142,511百万円(前年同期比1.0%減)となり、総売上高に占める割合は50.0%となりました。

常駐警備業務



売上高 (億円)

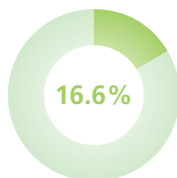


当期の概況

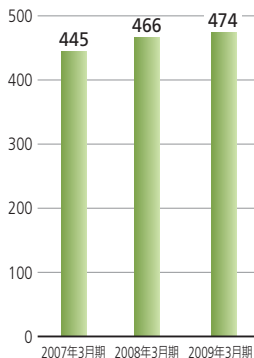
前期に事業を開始したPFI方式を採用した官民共同の刑務所監視業務、北海道洞爺湖サミットにおける大規模警備の受注等が売上に寄与しましたが、景気の停滞に伴う解約や値下げの影響がありました。

以上の結果、常駐警備業務部門の売上高は、72,830百万円(前年同期比0.0%増)となり、総売上高に占める割合は25.6%となりました。

警備輸送業務



売上高 (億円)

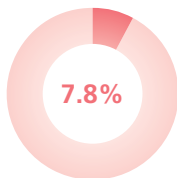


当期の概況

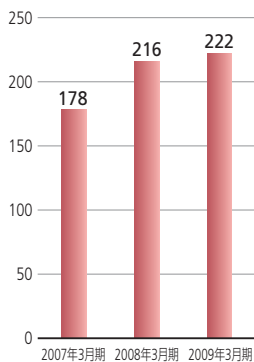
金融機関のアウトソーシングが都市銀行や地方銀行のみならず、労働金庫、信用金庫等へ拡大し、資金管理業務・現金輸送業務の受注が伸張しました。一般法人向けの「入金機オンラインシステム」も小売業、サービス業を中心に堅調に推移しました。

以上の結果、警備輸送業務部門の売上高は47,444百万円(前年同期比1.8%増)となり、総売上高に占める割合は16.6%となりました。

その他の事業



売上高 (億円)



当期の概況

AED (自動体外式除細動器) や多機能型ATM「MMK」の受注が堅調に推移しました。

以上の結果、その他の事業の売上高は、22,217百万円(前年同期比2.7%増)となり、総売上高に占める割合は7.8%となりました。

財務諸表

連結貸借対照表

区分	第44期 2009/3/31	第43期 2008/3/31
(資産の部)		
流動資産	163,690	172,212
現金及び預金	53,506	57,375
警備輸送業務用現金	30,910	30,839
受取手形及び売掛金	20,862	22,460
リース債権及びリース投資資産	1,290	—
有価証券	1,618	1,265
たな卸資産	—	4,452
原材料及び貯蔵品	4,249	—
立替金	43,821	49,776
繰延税金資産	2,409	1,689
その他	5,238	4,583
貸倒引当金	△ 216	△ 229
固定資産	123,871	125,183
有形固定資産	59,095	57,638
建物及び構築物	18,984	19,554
機械装置及び運搬具	15,140	15,364
土地	17,972	17,933
リース資産	2,221	—
建設仮勘定	1,404	1,129
その他	3,372	3,657
無形固定資産	5,422	5,528
ソフトウェア	5,125	4,574
のれん	37	147
その他	259	806
投資その他の資産	59,353	62,016
投資有価証券	24,039	27,354
長期貸付金	636	1,815
敷金及び保証金	8,429	8,460
保険積立金	3,111	3,421
前払年金費用	4,166	3,518
繰延税金資産	15,909	16,111
その他	3,535	3,704
貸倒引当金	△ 474	△ 2,369
資産合計	287,561	297,396

(単位:百万円)

区分	第44期 2009/3/31	第43期 2008/3/31
(負債の部)		
流動負債	89,381	96,993
支払手形及び買掛金	8,668	9,551
短期借入金	53,182	60,766
1年内償還予定の社債	2,200	2,700
未払金	12,407	11,724
リース債務	788	—
未払法人税等	1,541	1,572
未払消費税等	1,326	1,619
賞与引当金	876	807
役員賞与引当金	174	184
その他	8,215	8,066
固定負債	43,282	45,498
社債	4,400	6,600
長期借入金	2,852	4,419
リース債務	2,825	—
繰延税金負債	4	25
再評価に係る繰延税金負債	418	418
退職給付引当金	27,773	28,670
役員退職慰労引当金	1,658	1,575
その他	3,348	3,788
負債合計	132,663	142,491
(純資産の部)		
株主資本	141,822	140,592
資本金	18,675	18,674
資本剰余金	32,117	32,117
利益剰余金	93,004	90,720
自己株式	△ 1,974	△ 919
評価・換算差額等	△ 4,660	△ 3,087
その他有価証券評価差額金	738	2,310
土地再評価差額金	△ 5,395	△ 5,395
為替換算調整勘定	△ 3	△ 2
少数株主持分	17,735	17,399
純資産合計	154,898	154,904
負債純資産合計	287,561	297,396

連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	第44期 2008/4/1～ 2009/3/31	第43期 2007/4/1～ 2008/3/31
売上高	285,004	284,996
売上原価	215,711	212,287
販売費及び一般管理費	59,349	58,913
営業利益	9,943	13,795
営業外収益	3,038	3,347
受取利息	241	395
受取配当金	566	667
投資有価証券売却益	21	170
受取賃貸料	181	441
受取保険差益	322	132
持分法による投資利益	312	329
違約金収入	383	438
その他	1,008	772
営業外費用	2,350	2,500
支払利息	930	988
投資有価証券売却損	2	16
固定資産除却損	281	470
デリバティブ評価損	327	540
その他	809	484
経常利益	10,630	14,642
特別利益	49	752
投資有価証券売却益	11	464
移転補償金	—	287
退職給付制度改定益	37	—
特別損失	1,617	410
投資有価証券評価損	1,590	231
投資有価証券売却損	2	45
固定資産除却損	23	120
減損損失	0	12
税金等調整前当期純利益	9,062	14,983
法人税、住民税及び事業税	3,467	4,603
法人税等調整額	676	1,982
少数株主利益	693	744
当期純利益	4,224	7,653

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

区分	第44期 2008/4/1～ 2009/3/31	第43期 2007/4/1～ 2008/3/31
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,291	14,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,997	△ 8,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,377	△ 9,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,086	△ 2,800
現金及び現金同等物の期首残高	49,790	52,591
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	162	—
現金及び現金同等物の期末残高	45,866	49,790

財務諸表

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

(2008年4月1日～2009年3月31日)	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	評価・換算 差額等合計		
2008年3月31日残高	18,674	32,117	90,720	△ 919	140,592	2,310	△ 5,395	△ 2	△ 3,087	17,399	154,904
当連結会計年度中の変動額											
新株の発行	0	0			1						1
剰余金の配当			△ 2,019		△ 2,019						△ 2,019
当期純利益			4,224		4,224						4,224
自己株式の取得				△ 1,054	△ 1,054						△ 1,054
その他			78		78						78
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 1,571	—	△ 1	△ 1,573	335	△ 1,237
当連結会計年度中の変動額合計	0	0	2,283	△ 1,054	1,230	△ 1,571	—	△ 1	△ 1,573	335	△ 6
2009年3月31日残高	18,675	32,117	93,004	△ 1,974	141,822	738	△ 5,395	△ 3	△ 4,660	17,735	154,898

個別貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

区分	第44期 2009/3/31	第43期 2008/3/31
(資産の部)		
流動資産	117,559	128,097
固定資産	85,086	85,776
資産合計	202,646	213,873
(負債の部)		
流動負債	76,805	84,248
固定負債	27,429	30,973
負債合計	104,234	115,221
(純資産の部)		
株主資本	102,810	101,489
評価・換算差額等	△ 4,398	△ 2,837
純資産合計	98,411	98,652
負債純資産合計	202,646	213,873

個別損益計算書(要約)

(単位:百万円)

区分	第44期 2008/4/1～ 2009/3/31	第43期 2007/4/1～ 2008/3/31
売上高	195,917	197,115
売上原価	152,748	151,400
販売費及び一般管理費	41,782	42,887
営業利益	1,386	2,827
営業外収益	6,017	6,472
営業外費用	1,571	1,538
経常利益	5,832	7,761
特別利益	11	752
特別損失	590	204
税引前当期純利益	5,253	8,308
法人税、住民税及び事業税	364	904
法人税等調整額	495	1,065
当期純利益	4,393	6,338

特 集

ALSOKスポーツ活動



レスリング

平成21年度全日本女子レスリング選手権大会において 吉田沙保里選手が8連覇を達成！

去る4月5日に駒沢体育館で「全日本女子レスリング選手権大会」が行われ、55kg級の吉田沙保里選手が出場しました。一回戦から快進撃を続け、決勝も期待通り第二ピリオドで鮮やかにフォールを決めて優勝(8連覇)を飾り、あわせて「最優秀選手賞」も受賞しました。さらに、この優勝で世界選手権大会への出場権も獲得しました。世界選手権でも皆様のご声援をお願いいたします。

北京オリンピック銅メダリストの湯元健一選手が 入社しました。

当社に入社した、北京オリンピック男子レスリングフリースタイル60kg級の銅メダリスト、湯元健一選手の入社記者会見が4月3日に行われました。湯元選手は会見の席で「強い選手がたくさんいて、憧れの会社でした」と入社への想いを語りました。今後のさらなる活躍にご期待ください。



湯元選手の主な成績

2005年	全日本選抜選手権大会 優勝
2005年 2006年	全日本選手権大会 優勝
2008年	北京オリンピック 銅メダル

柔 道

塚田真希選手が前人未到の8連覇！

去る4月19日に横浜文化体育館で「第24回皇后盃全日本女子柔道選手権大会」が行われ、ALSOK所属の塚田真希選手と中澤さえ選手および駒木奈緒美選手が出場しました。駒木選手は三回戦で惜しくも敗れましたが、塚田選手と中澤選手はともに快進撃を続け、決勝戦は両名の対決となりました。当社所属選手同士の戦いとなり、手に汗握る戦いでしたが、塚田選手が中澤選手を破り優勝、見事「前人未到の8連覇」を達成しました。

塚田選手は本大会優勝に伴い、先に決定していた中澤選手とともにロッテルダム(オランダ)で行われる世界選手権の出場権を獲得しました。世界選手権でも皆様のご声援をお願いいたします。



ALSOKの新CM「訓練(春)・競争」篇が6月からオンエア

新CMは、ALSOK所属の柔道の塚田真希選手、レスリングの吉田沙保里選手が出演し、先頭に立つ両選手が率いるALSOKの現役ガードマンが「1、2、3、4 ALSOK」の掛け声とともに浜辺をランニングし、掛け声の中で、ALSOKホームセキュリティαのセールスポイントである「ネットde ALSOK」、「ゼロスタートプラン」を伝えるストーリーです。



ウイルス対策用マスク「ガーディVマスク」を発売

■ 高機能な5層の立体特殊構造

ウイルスを分解する機能を有し、一般のマスクと比べてウイルス対策に優れています。また、N95マスクのように装着時の息苦しさがありません。

■ ウイルスの捕捉率は99%以上

帯電フィルターでウイルスをキャッチし、銀光触媒フィルターでウイルスを分解します。

気流殺菌試験でもMRSAなど有害微生物の捕捉率は99.9%という結果が出ました。



月額6万円台の企業向け受付ロボットを開発

昨今の経済情勢から、コスト削減を目的に有人受付を廃止する企業が増加、タッチパネル画面を用いた無人受付システムを採用するケースが多く見受けられます。この傾向をビジネスチャンスと捉え、これまで培ったロボット技術を用いて、警備機能を付加した無人受付システムを開発、6月に発売予定となりました。



発売前の3月には東京ビックサイトで行われたセキュリティショー2009に参考出品し、多くの来場者の関心を集めました。

キッズニア甲子園にALSOK「警備センター」パビリオンがオープン

2009年3月にオープンした“こどもが主役の街”キッズニア甲子園に「警備センター」パビリオンを展出了ました。

キッズニアのコンセプトは「エデュケーション(学び)」と「エンターテインメント(楽しさ)」を合わせた、『エデュテインメント』です。こどもたちは、現実社会のほぼ2/3で造られたリアルな街の中で、独自通貨「キッソ」の流通を通して、リアルな経済活動を体験することができます。

「警備センター」でのこどもたちの仕事は、独自通貨「キッソ」の警備輸送業務です。厳しい訓練を受けたガードマンとして「お客様の大切な財産を守る」という重要な任務をやり遂げ、責任感やチームワークの大切さを体験できます。



会社概要

社名: 総合警備保障株式会社

(SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.)

本社: 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6

設立: 1965年7月16日

資本金: 18,675百万円(2009年3月31日現在)

代表者: 代表取締役社長 村井 温(むらい あつし)

事業所: 本社・1事業本部・9地域本部・58支社・45支店・
242営業所(2009年6月25日現在)

取締役および監査役(2009年6月25日現在)

代表取締役社長 村井 温
 代表取締役 青山 幸恭
 代表取締役 田村 彰
 取締役 松本 智
 取締役 大西 明
 取締役 市川 顕
 取締役 橋尾 志良
 取締役 菅野 明
 常勤監査役 中島 英夫
 常勤監査役 鈴木 恵治
 常勤監査役 小野澤 義博
 監査役 陰山 照男
 監査役 大迫 健

執行役員(2009年6月25日現在)

社長	村井 温	執行役員	藤川 隆夫
専務執行役員	青山 幸恭	執行役員	山田 啓
専務執行役員	田村 彰	執行役員	栗林 誠良
専務執行役員	松本 智	執行役員	大泉 和正
専務執行役員	大西 明	執行役員	原 清美
常務執行役員	市川 顕	執行役員	長尾 隆義
常務執行役員	橋尾 志良	執行役員	寺尾 政志
常務執行役員	星野 将	執行役員	本庄 松雄
常務執行役員	澤村 章三	執行役員	宮澤 裕一
		執行役員	上野 敬史
		執行役員	松本 誠一
		執行役員	吉岡 幹雄

発行可能株式総数 300,000,000株

発行済株式の総数 102,040,042株

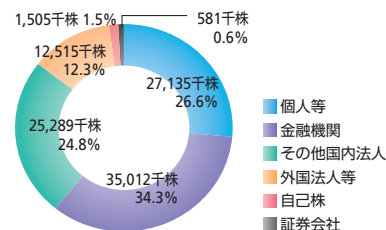
株主数 11,138名

大株主

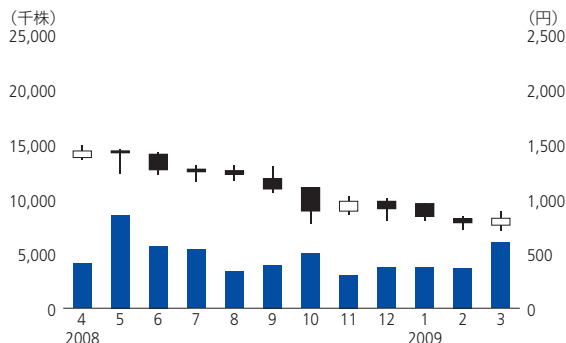
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
総合商事(株)	7,388	7.24
総合警備保障従業員持株会	5,996	5.87
埼玉機器(株)	5,283	5.17
かまくら商事(株)	4,300	4.21
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)*	4,261	4.17
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,179	4.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	3,708	3.63
東京海上日動火災保険(株)	3,420	3.35
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,172	3.10
村井恒夫	2,999	2.93

*みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口の所有株式は、(株)みずほ銀行が退職給付信託として拠出したものであります。

所有者別状況(株式数)



株価チャート・出来高推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株主様のご住所・お名前中使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録

いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。配当金額収証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-78-2031(フリーダイヤル)
総合警備保障株式会社 総務部総務課
TEL: 03-5410-4428
E-mail: soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ

総合警備保障株式会社 IR室
TEL: 03-3423-2331
FAX: 03-3470-1565
E-mail: alsok-ir@alsok.co.jp



総合警備保障株式会社

ALSOK ホームページ <http://www.alsok.co.jp/>



再生紙を使用しております。

環境に優しい植物性大豆インキを使用しております。